

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	飯橋道路関連事業(交付金)(山本336.339号線電線共同溝)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	建設部	課等名	国県関連事業課		包含する細々目	1	8	2	3	13	11		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり												
施策	44 交通機関と道路の充実												
実施区分	18終了	会計	一般会計	環境調整会議	不要	全国総合開発計画 三遠南信自動車道整備事業計画(国土交通省)							
		事業期間	18	年度~	18	年度	関連計画 条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	山本、伊賀良、三穂に居住する市民	居住者数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			20893				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	景観の向上、快適な道路空間の確保	延長(m)	18目標	305	最終目標	305	18
			18実績	305	19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度	
		18目標		最終目標			
		18実績		19目標		↑	
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	三遠南信自動車道の飯田南IC(仮称)へアクセスする市道への電線共同溝整備。 (補足説明) アクセス道路は、飯田市の南の玄関口ともいえる場所に位置し、供用後沿線の開発が予想されるため、景観の配慮が必要である。 総延長L=305m	電線共同溝整備工事 L=305m 18年度繰越 平成19年8月31日完了予定	延長(m)	305
	18年度の実績			
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	33,000	
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	24,400	
	その他	1,624	
一般財源	2,678		
事業費計(A)	61,702	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度 250	19年度
	臨時職員等所要時間	30	
	人件費計(B)	926	0
	トータルコストA+B	62,628	0

特定財源内訳や補足事項	地方道路交付金事業 交付金(55%) 合併特例債(補助残95%)
-------------	-------------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	便利で安全に移動ができる。	電線共同溝整備延長(m) (国土交通省施工分を含む)	現状値	0	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	581
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
平成16年3月に長野ブロック無電柱化協議会で、国土交通省が施工する計画が始まった。当初はアクセス道路内に歩道の計画があり国土交通省の施工予定であったが、利便性を考慮し、アクセス道路側道外側へ歩道を設置する事となり歩道部は将来道路管理者である飯田市になることから、電線共同溝の事業主体が飯田市となった。	平成19年度供用開始に向け、三遠南信自動車道、アクセス道路建設中。	特になし

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	平成19年度供用開始に向け三遠南信自動車道を建設中であり、接続するアクセス道路の建設に併せて、平成18年度は国土交通省、電気事業者と調整をとりながら電線共同溝を実施する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	(課題)アクセス道路の建設に併せて施行のため、工程調整が必要となる。 (克服)国土交通省、電気事業者との関係を密にし、事業を進捗させていきたい。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	